臺灣新民報 日刊 第一萬一千七百八十八號 (一)
昭和八年一月三十一日 (火曜日) 第二種郵便物認可 (明治一年五月九日第三種郵便物認可)
臺灣新民報 (夕刊) (原臺灣新報)
一月三十日 夕刊定価一部金五錢

第四項移牒は恐れぬが 第二項和協に努力せよ

外務首腦部やきの〻協議 けふ中に代表部に訓電

【東京三十日發電通】 內田外相は廿九日日曜に拘はらず午後一時外務省に登廳、有田次官、谷亞細亞局長等首腦部を招致し夕刻まで長時間協議を遂げたが右け聯盟の急迫せる形勢に關し我が最後的態度に付き熟議せるものと見られて居る、卽ち二十九日帝國代表部より外務省に到達せる報告に據れば聯盟の形勢は帝國政府が昨年十二月決議案の理由書末項に於ける滿洲國否認の意味の明示さるるに於ては第四項に依り我國に不利なる報告及び勸告の作製されることを阻止し得ずとの分岐點にあり、若し此點に關し外務當局は極秘に帝國政府としては第三項で喰止むべきか、第四項を甘受すべきかの最後的決斷にあるものと見られ、此點に關し昨年多少の遲延を生ずるも帝國政府の訓令を仰ぐ事に決したが、右訓令は來る二月一日頃に代表部に到達する豫定にて、之に依り我代表部は第三項の和協の努力に對する帝國の態度を決定するものにあらず、帝國代表が既に與へられたる訓令の範圍を超脫して聯盟側と交渉することになつたものの如くである

一、帝國政府は第三項に依る和協的努力に對する帝國の態度を決定するものにあらず、帝國代表が既に與へられたる訓令の範圍を超脫して聯盟側と交渉することになつたものの如くである

一、帝國政府は第三項に依る和協的努力に對する帝國の態度を放棄するものにあらず、帝國代表が既に與へられたる訓令の範圍を超脫して聯盟側と交渉することになつたものの如くである

二、帝國政府が滿洲原案に對し提示せる修正要求の內容は、リットン報告書第九章の勸告原則を解決の基礎とする點及び

(二)和協委員會に於ける日支交渉を指導するにありとせる點に對する修正は字句の一二部正に依り大體之を容認し得べきも

(三)理由書末項に就ては之を根本的に變形するを要す、卽ち滿洲國否認の意味の明示さるるに於ては第四項に依り我國に不利なる報告及び勸告の作製されることを阻止し得ずとの分岐點にあり、若し此點に關し外務當局は極秘に帝國政府としては第三項で喰止むべきか、第四項を甘受すべきかの最後的決斷にあるものと見られ、此點に關し昨年多少の遲延を生ずるも帝國政府の訓令を仰ぐ事に決し三十日中に大要左の如き訓電を總國代表に發電することになつたもの

露支復交を機に
ソ國俄然政策を變更
蘇炳文以下の入滿を圖り
反滿抗日の策動を援助

【奉天二十九日發電通報】トムスクに在る蘇露人は露國滯の露形式出　露國政府當局に武裝解除されてはるが優遇されて居り
僞勇軍の反滿積極行動のため武器軍需品の補充方を契約したこと判明した、又四月の解氷期を期し一齊に滿洲國に潛入し抗日工作を爲すべく彼の部下はチタ、トムスク、イルクック、ハバロフスク、ウスリー各方面に散在して徴兵中で既に下士官四十名は國民政府と連絡のため一月二日浦鹽發上海に向つたこと判明した、ソビエット當局が蘇露を總動し反滿抗日の眞意を露骨に表せしめるためにモスクワより東支線各地に發令する等、露支國交回復を機し俄然政策急轉し抗日態度を開明にして來た

熱河問題切迫して
全滿にスパイが暗躍
女間諜の乳房に暗號が秘められ
巻煙草にも密書を封じ込む

【奉天二十九日發電通特電】學良の間諜は有らゆる方法で滿洲に潛入してるが僞軍總指揮張海鵬の如きも既に數回に亘り潛入し女間諜の乳房に暗號が秘められ巻煙草にも密書を封じ込んだり女間諜の乳房に暗號が躍る等熱河問題の切迫し居る際スパイは全滿に暗躍してゐる

沈克の兵三萬
近く對日戰事行動
建昌營子に戰雲漲る

九龍長從官は同軍の參謀長劉俊傑を命ぜられ二十六日現役會議をなし戰鬪準備完了後々對日戰小行動が發送には百五十師團を連絡し、この兵力十三萬に上つた、各軍の兵力及駐屯地左の如し
一、商震　第四千　瀋陽
二、宋哲元　一萬七千　玉田、豐潤
三、馮玉祥　一萬　喜峯口
四、孫桂林六萬　昌黎
五、沈克四千　開平
六、孫殿英五千　昌黎

學良直系軍の移動は完了
總兵力十三萬に上る

【天津二十八日發電通報】張學良が新たに編成せる第一線長城各口の增援兵二萬は二十一日午前方面より開平に入り二十四日先頭部隊は既に昌黎に到着、殿下部隊は既に昌黎に到着、殿下

臺北州蕃地
降雪

一月二十六日から臺北地方を襲つた寒さのために臺北州の各蕃地は次の如く積雪の情況を示し、銃口又は臺北州警察部では二日中銃より臺北州蕃地山麓警察官及蕃丁二八、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁三〇、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁二六、〇〇〇名を動員し、たが雪は深く積つて蕃人の出入は殆ど杜絶の狀態にあるため、この際蕃人の出入を嚴重取締ることになつてゐる
▲臺東廳下

新聞記者の
恐喝詐欺

臺北州警察部では二月中旬より臺北州蕃地山麓警察官及蕃丁二八、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁三〇、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁二六、〇〇〇名を動員し、たが雪は深く積つて蕃人の出入は殆ど杜絶の狀態にあるため、この際蕃人の出入を嚴重取締ることになつてゐる
▲臺東廳下

芝山巖祭典で
臨時列車
團體申込は臺北驛に

來る二月一日土林芝山巖祭典に付いて臺北驛では臺北士林間に臨時六列車を運轉することになつてゐる、團體申込みは臺北驛に申込めばよろしく申込を數の際は適時に增發すべく準備してあるから當日は驛と問驛な參詣列車が臺北驛を發車することになつてゐる

吹雪で十一名遭難
二名は凍死他は重態
石川縣スキー豫選會で

【金澤三十日發電通】二十九日午前九時より石川縣鶴來町スキー協會石川聯盟大會石川縣豫選會で行はれた全日本スキー選手權大會石川聯盟大會で十八キロ少年部選手二十六名は折柄の
猛吹雪
を衝いて出發した所、內十一名は午後五時に至るも歸らぬので安否氣遣はれ捜査隊を編成した所八名が途中に倒れ
寒氣に
凍死慘憺となつてゐるのを發見、救護手當を施したが所午後八時に至り金澤二中三年生小谷澤市工業生江國與子夫(一七)及同三年生小西方信の兩名が凍死した旨を發見された數名は遭難學生は何れも凍死の重態である

基隆の歡樂境
近く應募者募集

【基隆電話】港内に相應しい娯樂機關として基隆山日新なる基隆劇場が近く應募者募集を行ふ筈で地點については市内某所に決定の模樣なるが建物については目下工事中で來る二月中旬頃には落成の豫定である

銀行襲撃の
强盜團の陰謀暴露
兇器銀行明細圖を押收

【東京三十日發電通】第二の大銀行ギャング事件と稱すべき強盜殺人豫備罪事件に關し警視廳では三十日午前一時三十分一味三名を檢擧、取調べ中であるが、これ等の者は昨年十月中旬頃より東京市內及び神奈川縣下の銀行を物色し、その內容を探知し、一味三名を檢擧、取調べ中であるが、これ等の者は昨年十月中旬頃より東京市內及び神奈川縣下の銀行を物色し、その內容を探知し、
寶込に
來たのが端緒となり檢擧取調べの結果一味の檢擧となり、本郷區分町下宿上野區に潛伏中の西條藤吉(三一)福島生れ佐藤勇吉(三一)福島生れ佐藤勇吉(三一)
押收し
た、同人等は二十九日夜を期して東京市內を初めた

初年兵の左眼に
小旗を突刺す
熟狂的歡送から

【基隆電話】港内に相應しい娯樂機關として基隆山日新なる基隆劇場が近く應募者募集を行ふ筈で地點については市内某所に決定の模樣なるが建物については目下工事中で來る二月中旬頃には落成の豫定である

岸壁地區と
連絡の新道路
基隆市で開
驚計畫

都市計畫實施の完成は益々しつつある基隆市に於て事業地區の分布狀態に見て將來の發展を豫想される岸壁地域即ち西岡、昭和、明治、大正、昭和、仙洞等戸數八千、人口約二萬七千を擁する基隆市は從來基隆驛を經由する交通が全部の上に過密なる交通量を捌けて從來の不便から解放さるる點につき詳細數項に亘り所あつたが當市當局としては都市計畫實施上急務施設すべき事項であるとし關係方面特に鐵道及逓信方面に交渉する事を約した、從つて目下工事中である第二岸壁の築造に於ける上屋倉庫完成同時期に着手を急ぐと共に新道路の設置を以て連絡の圓滑を期する上に必要と認める道路を選定するが基隆市としては將來の大成を期する上に必要と認められて居る

早蕨殉難者に
弔慰金
基隆の二少年が

【基隆電話】去る二十六日夜九時頃基隆市の中心、名の少年が基隆驛構內の線路を横斷し、同二十糎を通過中の列車に觸れ、同二十糎を通過中の列車に觸れ、

基隆郡の
賭博犯檢擧

【基隆電話】四月三日間に亘る基隆郡警察當局では五十二件百三十四名の賭博犯を檢擧したがその內訳は二千二百五十九圓に上つてゐる、尙基隆署では本年に入つて五十二件少なく金額に於ても比較して二千一百五十三圓少なく、又同三年生小西方信の兩名が凍死した旨を發見された數名は遭難學生は何れも凍死の重態である

內地人ルンペンの縊死

【基隆電話】三十日午前七時頃基隆市警察署前第一小學校附屬實習工場の內に四十歳ルンペン風の內地人男が縊死を遂げてゐるを發見された、もしルンペン年、

天氣概況(三十日)

本島は花蓮港が前他は曇となつて居ります
▲天氣豫報(三十一日)　北東の疾風時々強く北部の和強、時々雨
▲臺北地方　東の疾風時後曇

商況(三十日)

米況
正米市況(前場)　基隆丸積小官

▲二期產米　當限　先限
七、六三　七、八〇
六四　八二
▲二期丸積米　當限　先限
七、二八　七、四〇
二七　四一
▲二期產米休場明後日先期米小甘さを缺めて小揃で當限七圓六三錢に當り六四錢と止め三十七米三錢に當り六四錢と止め三十七米小甘さを缺めて小揃で當限七圓六三錢に當り六四錢と止め三十七米
市限七圓八〇錢に當り八二錢と下向いて止め十九米先限七圓九五錢に當り九六錢と止の四米
▲二期先限は期米安に小甘く當限七圓八二錢に當り二錢あつて二八錢同月に止め十三米市限七圓四〇錢に當り小揃さるて四二錢と小限に止め二十七米先限七圓五五錢と二本一米

大阪期米
前場
一三六　一四〇　一四五

神戸期米
前場
一二四三　一二四四　一二四五
一二四〇　一二四一　一二四二
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

東京期米
前場
一二四一　一二四二　一二四三
一二四〇　一二四一　一二四二
一二三九　一二四〇　一二四一
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三七　一二三八　一二三九
一二三六　一二三七　一二三八
一二三五　一二三六　一二三七
一二三四　一二三五　一二三六
一二三三　一二三四　一二三五

東京短期
前場
一二四七　一二四八　一二四九
一二四四　一二四五　一二四六
一二四一　一二四二　一二四三
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

大阪短期
前場
一二五九　一二六〇　一二六一
一二五六　一二五七　一二五八
一二五三　一二五四　一二五五
一二五〇　一二五一　一二五二
一二四七　一二四八　一二四九
一二四四　一二四五　一二四六
一二四一　一二四二　一二四三
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七

大阪長期
一二六〇　一二六一　一二六二
一二五七　一二五八　一二五九
一二五四　一二五五　一二五六
一二五一　一二五二　一二五三
一二四八　一二四九　一二五〇
一二四五　一二四六　一二四七
一二四二　一二四三　一二四四
一二三九　一二四〇　一二四一
一二三六　一二三七　一二三八

株式
東京短期
前場
一二四七　一二四八　一二四九
一二四四　一二四五　一二四六
一二四一　一二四二　一二四三
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

神戸期米
前場
一二四三　一二四四　一二四五
一二四〇　一二四一　一二四二
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

大阪期米
前場
一二四　一二五　一二六

三兒を分娩
二番目の子のみ死亡
他は母子とも元氣

【嘉義電話】嘉南製糖斗六部斗一街大崙大日本製糖會社斗六製糖所は田中嘉女は二十七日午後六時頃らしくも男ばかりの三兒を分娩したが二番目に生れた兒に不幸にも發育死亡し外二兒は無事である、同製糖所の仲間には子なくして悩んでゐるものもあり緊急の的となつてゐると

不良青年が
醉拂を毆打
基隆の松竹前で

【基隆電話】鹿兒島縣人、下基隆派出所管內の商船通信士某(二七)が去る二十八日午後十一時半頃酒に醉つて田邊町カフエー松竹前まで來かかつた際突然
背後から
、數名の不良青年が物をも云はず拳にひかり同人の頭部其他數ケ所を二回位殴つた後、四圓十錢を同人へ投與、同所管內に
J·T·B主催採
勝團の座談會
J·T·B臺北支部では愈に來る二月四日午後七時半から鐵道ホテルに於て全參加者の集合を求めて座談會を催し、
「思ひ出座談會」
を開催、當日自慢の寫眞スケッチ等の持寄り會に記念の小冊子を發行する筈である

新竹州下に
疑似天然痘

【新竹電話】新竹州竹南郡中港十六番地莊阿源(五)は一週間前から發病し公醫の診斷の結果疑似天然痘の疑ひあるものと認定、用に供し隔離を命じ、同郡保健係員が消毒を行ひ、又同家族に對し種痘を施行した

臺北市バス課
の從業員慰安

臺北市自動車課では來る二月四、五、六の三日間に亙り烏山頭公共浴場に於て從業員慰安の
猛吹雪
を衝いて出發した所、內十一名は午後五時に至るも歸らぬので安否氣遣はれ捜査隊を編成した所八名が途中に倒れ
寒氣に
凍死慘憺となつてゐるのを發見、救護手當を施したが所午後八時に至り金澤二中三年生小西方信の兩名が凍死した旨を發見された數名は遭難學生は何れも凍死の重態である

金光教記念大祭

市内若竹町金光教臺北教會所では二月一日午前十時半より大祭二次いで臨時總會を開き二月中後一時より地方教會長參集して盛大なる祭典を執行、又同教會主催にて慰安會を開催することとなつた

猫いらずで自殺

新竹市西門二六、楊金水(七)は二十七日午前十時頃自宅に於て猫いらずを嚥下し自殺を圖つたが家人に發見され手當中遂に死亡した

市民歌レコード
愈よ發賣
三十日一齊に

かねて臺北市役所で懸賞募集した臺北市民歌は其後バーロンレコード會社でレコードに吹き込む事中の所愈々著手三十日より市内所に發賣する事となつた因みにバーロン會社では定價一圓五十錢日蓄サービス盤(白レーベル)を一圓二十錢で特に提供する筈、尙B面の小唄「等の臺北」は西川嘉定師に依り面白い節付されたので檢番でも先生來訪番組上れ來訪者の耳を樂ませる筈である

新竹州の
公醫會議

【新竹出張所】新竹州公醫會議は三日午前十時半から會議室にて開催、出席會員二十五名、衛生課長、醫務課長、各部長の訓示あつて午後一時から左の議題に移つた
一、二三の外科的手術法について　苗加一博士
一、ホルモンの研究とその製劑について　鈴木　良手
一、腦チフスの細菌學的診斷について　下村衛生課長

不良青年が
醉拂を毆打
基隆の松竹前で

【基隆電話】鹿兒島縣人、下基隆派出所管內の商船通信士某(二七)が去る二十八日午後十一時半頃酒に醉つて田邊町カフエー松竹前まで來かかつた際突然
背後から
、數名の不良青年が物をも云はず拳にひかり同人の頭部其他數ケ所を二回位殴つた後、四圓十錢を同人へ投與、同所管內に
J·T·B主催採
勝團の座談會
J·T·B臺北支部では愈に來る二月四日午後七時半から鐵道ホテルに於て全參加者の集合を求めて座談會を催し、
「思ひ出座談會」
を開催、當日自慢の寫眞スケッチ等の持寄り會に記念の小冊子を發行する筈である

新竹州下に
疑似天然痘

【新竹電話】新竹州竹南郡中港十六番地莊阿源(五)は一週間前から發病し公醫の診斷の結果疑似天然痘の疑ひあるものと認定、用に供し隔離を命じ、同郡保健係員が消毒を行ひ、又同家族に對し種痘を施行した

臺北市バス課
の從業員慰安

臺北市自動車課では來る二月四、五、六の三日間に亙り烏山頭公共浴場に於て從業員慰安の
猛吹雪
を衝いて出發した所、內十一名は午後五時に至るも歸らぬので安否氣遣はれ捜査隊を編成した所八名が途中に倒れ
寒氣に
凍死慘憺となつてゐるのを發見、救護手當を施したが所午後八時に至り金澤二中三年生小西方信の兩名が凍死した旨を發見された數名は遭難學生は何れも凍死の重態である

金光教記念大祭

市内若竹町金光教臺北教會所では二月一日午前十時半より大祭二次いで臨時總會を開き二月中後一時より地方教會長參集して盛大なる祭典を執行、又同教會主催にて慰安會を開催することとなつた

猫いらずで自殺

新竹市西門二六、楊金水(七)は二十七日午前十時頃自宅に於て猫いらずを嚥下し自殺を圖つたが家人に發見され手當中遂に死亡した

新聞記者の
恐喝詐欺

【嘉義電話】嘉南斗六部斗一街大崙大日本製糖會社斗六製糖所は田中嘉女は二十七日午後六時頃らしくも男ばかりの三兒を分娩したが二番目に生れた兒に不幸にも發育死亡し外二兒は無事である、同製糖所の仲間には子なくして悩んでゐるものもあり緊急の的となつてゐると

芝山巖祭典で
臨時列車
團體申込は臺北驛に

來る二月一日土林芝山巖祭典に付いて臺北驛では臺北士林間に臨時六列車を運轉することになつてゐる、團體申込みは臺北驛に申込めばよろしく申込を數の際は適時に增發すべく準備してあるから當日は驛と問驛な參詣列車が臺北驛を發車することになつてゐる

臺北州蕃地
降雪

一月二十六日から臺北地方を襲つた寒さのために臺北州の各蕃地は次の如く積雪の情況を示し、銃口又は臺北州警察部では二日中銃より臺北州蕃地山麓警察官及蕃丁二八、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁三〇、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁二六、〇〇〇名を動員し、たが雪は深く積つて蕃人の出入は殆ど杜絶の狀態にあるため、この際蕃人の出入を嚴重取締ることになつてゐる
▲臺東廳下

新聞記者の
恐喝詐欺

【嘉義電話】嘉南斗六部斗一街大崙大日本製糖會社斗六製糖所は田中嘉女は二十七日午後六時頃らしくも男ばかりの三兒を分娩したが二番目に生れた兒に不幸にも發育死亡し外二兒は無事である、同製糖所の仲間には子なくして悩んでゐるものもあり緊急の的となつてゐると

芝山巖祭典で
臨時列車
團體申込は臺北驛に

來る二月一日土林芝山巖祭典に付いて臺北驛では臺北士林間に臨時六列車を運轉することになつてゐる、團體申込みは臺北驛に申込めばよろしく申込を數の際は適時に增發すべく準備してあるから當日は驛と問驛な參詣列車が臺北驛を發車することになつてゐる

臺北州蕃地
降雪

一月二十六日から臺北地方を襲つた寒さのために臺北州の各蕃地は次の如く積雪の情況を示し、銃口又は臺北州警察部では二日中銃より臺北州蕃地山麓警察官及蕃丁二八、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁三〇、〇〇〇名、隘勇線警察官及蕃丁二六、〇〇〇名を動員し、たが雪は深く積つて蕃人の出入は殆ど杜絶の狀態にあるため、この際蕃人の出入を嚴重取締ることになつてゐる
▲臺東廳下

銀行襲撃の
强盜團の陰謀暴露
兇器銀行明細圖を押收

【東京三十日發電通】第二の大銀行ギャング事件と稱すべき強盜殺人豫備罪事件に關し警視廳では三十日午前一時三十分一味三名を檢擧、取調べ中であるが、これ等の者は昨年十月中旬頃より東京市內及び神奈川縣下の銀行を物色し、その內容を探知し、一味三名を檢擧、取調べ中であるが、これ等の者は昨年十月中旬頃より東京市內及び神奈川縣下の銀行を物色し、その內容を探知し、
寶込に
來たのが端緒となり檢擧取調べの結果一味の檢擧となり、本郷區分町下宿上野區に潛伏中の西條藤吉(三一)福島生れ佐藤勇吉(三一)福島生れ佐藤勇吉(三一)
押收し
た、同人等は二十九日夜を期して東京市內を初めた

初年兵の左眼に
小旗を突刺す
熟狂的歡送から

【基隆電話】港内に相應しい娯樂機關として基隆山日新なる基隆劇場が近く應募者募集を行ふ筈で地點については市内某所に決定の模樣なるが建物については目下工事中で來る二月中旬頃には落成の豫定である

岸壁地區と
連絡の新道路
基隆市で開
驚計畫

都市計畫實施の完成は益々しつつある基隆市に於て事業地區の分布狀態に見て將來の發展を豫想される岸壁地域即ち西岡、昭和、明治、大正、昭和、仙洞等戸數八千、人口約二萬七千を擁する基隆市は從來基隆驛を經由する交通が全部の上に過密なる交通量を捌けて從來の不便から解放さるる點につき詳細數項に亘り所あつたが當市當局としては都市計畫實施上急務施設すべき事項であるとし關係方面特に鐵道及逓信方面に交渉する事を約した、從つて目下工事中である第二岸壁の築造に於ける上屋倉庫完成同時期に着手を急ぐと共に新道路の設置を以て連絡の圓滑を期する上に必要と認める道路を選定するが基隆市としては將來の大成を期する上に必要と認められて居る

早蕨殉難者に
弔慰金
基隆の二少年が

【基隆電話】去る二十六日夜九時頃基隆市の中心、名の少年が基隆驛構內の線路を横斷し、同二十糎を通過中の列車に觸れ、同二十糎を通過中の列車に觸れ、

基隆郡の
賭博犯檢擧

【基隆電話】四月三日間に亙る基隆郡警察當局では五十二件百三十四名の賭博犯を檢擧したがその內訳は二千二百五十九圓に上つてゐる、尙基隆署では本年に入つて五十二件少なく金額に於ても比較して二千一百五十三圓少なく、又同三年生小西方信の兩名が凍死した旨を發見された數名は遭難學生は何れも凍死の重態である

內地人ルンペンの縊死

【基隆電話】三十日午前七時頃基隆市警察署前第一小學校附屬實習工場の內に四十歳ルンペン風の內地人男が縊死を遂げてゐるを發見された、もしルンペン年、

天氣概況(三十日)

本島は花蓮港が前他は曇となつて居ります
▲天氣豫報(三十一日)　北東の疾風時々強く北部の和強、時々雨
▲臺北地方　東の疾風時後曇

商況(三十日)

米況
正米市況(前場)　基隆丸積小官

▲二期產米　當限　先限
七、六三　七、八〇
六四　八二
▲二期丸積米　當限　先限
七、二八　七、四〇
二七　四一
▲二期產米休場明後日先期米小甘さを缺めて小揃で當限七圓六三錢に當り六四錢と止め三十七米三錢に當り六四錢と止め三十七米小甘さを缺めて小揃で當限七圓六三錢に當り六四錢と止め三十七米
市限七圓八〇錢に當り八二錢と下向いて止め十九米先限七圓九五錢に當り九六錢と止の四米
▲二期先限は期米安に小甘く當限七圓八二錢に當り二錢あつて二八錢同月に止め十三米市限七圓四〇錢に當り小揃さるて四二錢と小限に止め二十七米先限七圓五五錢と二本一米

大阪期米
前場
一三六　一四〇　一四五

神戸期米
前場
一二四三　一二四四　一二四五
一二四〇　一二四一　一二四二
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

東京期米
前場
一二四一　一二四二　一二四三
一二四〇　一二四一　一二四二
一二三九　一二四〇　一二四一
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三七　一二三八　一二三九
一二三六　一二三七　一二三八
一二三五　一二三六　一二三七
一二三四　一二三五　一二三六
一二三三　一二三四　一二三五

東京短期
前場
一二四七　一二四八　一二四九
一二四四　一二四五　一二四六
一二四一　一二四二　一二四三
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七
一二三二　一二三三　一二三四
一二二九　一二三〇　一二三一
一二二六　一二二七　一二二八
一二二三　一二二四　一二二五

大阪短期
前場
一二五九　一二六〇　一二六一
一二五六　一二五七　一二五八
一二五三　一二五四　一二五五
一二五〇　一二五一　一二五二
一二四七　一二四八　一二四九
一二四四　一二四五　一二四六
一二四一　一二四二　一二四三
一二三八　一二三九　一二四〇
一二三五　一二三六　一二三七

大阪長期
一二六〇　一二六一　一二六二
一二五七　一二五八　一二五九
一二五四　一二五五　一二五六
一二五一　一二五二　一二五三
一二四八　一二四九　一二五〇
一二四五　一二四六　一二四七
一二四二　一二四三　一二四四
一二三九　一二四〇　一二四一
一二三六　一二三七　一二三八

株式と利殖號
無代進呈

◉株式と利殖號　全　無代進呈
◉遊金と投資の方法◉有利なる株式投資◉不景氣時代に宜い株式投資◉投資と投機◉惡る可き金利增殖率◉最も有利な利殖法◉株式全國代表的株主と持株◉株式賴取法◉國債證券と重利殖法◉國債證券と當籤◉其他投資利殖法◉女子の利殖法◉投資の一日◉其他投資に關する諸項目

理想的評判の
姙娠調節器として
ノーマン
簡單にして使用感のないのが特長

フキンスキンより薄く、より潤く、より柔かく、天然スキンを以つて通り、なの新發明品

ノーマンの先端のみを包む、僅かに一本の指先程なるオーバーシューズ、ノーマンの特長は、この部分に極く僅かの潤滑劑を塗布してあるのみで、他の部分には全然塗布してない點にあるのである、從つて使用感は全然なく、從來の如き不快感は全然なく、從來の如き不快感は全然なく、從來の如き不快

續殘月譜

(103)

志乃田廻司作
清水三重三畫

巻のくらし (三) ノ

「泥水どのの花所をかう」
「泥水！」
「だが、それは駄目だらう」
「駄目とは何ぢや」
「御贔屓者と知られた泥水どのの事とやや、よもや、縁などに所を明かして呉くものか、止した方がいい」
「止した方がいい？」
「ものは、ためしと云ふことがある、子に逃はされるのは人倒りや縁が父の花所を知らぬと云つて洲まされるかつ」
「さ、河合どの、そんなに申されるな」
「こつて止めるとなら、はは有難つた、然公、八木運転馬は、さては泥水の縁に合があつたのだ」
「何の話を？」
八木運転馬は縁を向いて云つたそして。
「扇六どの、そも〳〵泥水を手易に捕縛したのは、然公の父河合小太郎殿ではなかつたか、してみれば然公は何を措いても泥水一門は、かばつてやらねばならぬ筈ではらぬか？」
「黙らつしやい」
掛せた刀を、そばやかして河合扇六は一膝した。
「然公こそだ、然公の兄皆八木源

「泥水どのの花所をかう」
「泥水！」
「だが、それは駄目だらう」
「駄目とは何ぢや」
「御贔屓者と知られた泥水どのの事とやや、よもや、縁などに所を明かして呉くものか、止した方がいい」
「止した方がいい？」
「ものは、ためしと云ふことがある、子に逃はされるのは人倒りや縁が父の花所を知らぬと云つて洲まされるかつ」
「さ、河合どの、そんなに申されるな」
「こつて止めるとなら、はは有難つた、然公、八木運転馬は、さては泥水の縁に合があつたのだ」
「何の話を？」
八木運転馬は縁を向いて云つたそして。
「扇六どの、そも〳〵泥水を手易に捕縛したのは、然公の父河合小太郎殿ではなかつたか、してみれば然公は何を措いても泥水一門は、かばつてやらねばならぬ筈ではらぬか？」
「黙らつしやい」
掛せた刀を、そばやかして河合扇六は一膝した。
「然公こそだ、然公の兄皆八木源

犬殺しのピンキイです」
と父に知らせる。先生もあわてて、二人を呼びよせ、之に命じる「さらば、かの二選手をかつばらへ」
そこでこの兇人は選手の下宿を嗅ぎつけ捕へに行く、然し選手の方では、すでに女の個夫よりの電話により、二人がくることを知つてゐるので笑ひながら待つてゐるさりとは神ならぬ身の知る由もないパラグエリ
「さてと、どうして捕へやう」

「なんたるコトぞ、諸君はアノ手を忘れたか、それ三十八の旅法」
ウアグスタフ先生は激昂絶叫をしてゐる、すると、フランクが飛んできて
「お父さん、そりや敵のチームです」
「ハン、ナル程、いや待て、敵の武器や如何に——といへば、あれは十二號〇、これが四半歳の終り

時！はや試合開始、（クスレイ
ビンキイは破顔紙を出すとビンキイは破顔紙を出す
テレツな話でや、二人は選手の部屋へ入りこむ、かくてインチキな食品ミイラ取りがミイラになり、パラグエリとビンキイが捕へられ室内に監禁される
×
「一方パラグエリとビンキイは敵をノコギリで切抜き脱下に監視からくも敵地を脱し、漸くにして試合場にかけつけてきた
「さあ戦へ」
ここにかけてナンセンスきはまる大試合が開始される、ビンキイはタックルすべく追ひくる敵軍にバナナを投げて敵はしたりするんだからたまらない
×
たまたまビンキイ、ボールをかかへて、走りも走つて六十ヤードところへ現はれたは一匹の犬、すると犬殺しの本性をあらはして、敵を片手に犬を追つか

「泥水どのの花所をかう」
「泥水！」
「だが、それは駄目だらう」
「駄目とは何ぢや」
「御贔屓者と知られた泥水どのの事とやや、よもや、縁などに所を明かして呉くものか、止した方がいい」
「止した方がいい？」
「ものは、ためしと云ふことがある、子に逃はされるのは人倒りや縁が父の花所を知らぬと云つて洲まされるかつ」
「さ、河合どの、そんなに申されるな」
「こつて止めるとなら、はは有難つた、然公、八木運転馬は、さては泥水の縁に合があつたのだ」
「何の話を？」
八木運転馬は縁を向いて云つたそして。
「扇六どの、そも〳〵泥水を手易に捕縛したのは、然公の父河合小太郎殿ではなかつたか、してみれば然公は何を措いても泥水一門は、かばつてやらねばならぬ筈ではらぬか？」
「黙らつしやい」
掛せた刀を、そばやかして河合扇六は一膝した。
「然公こそだ、然公の兄皆八木源

映畫時評

『御冗談でショ』譚

(下)

東京　西川　滿

一方フランクは、先生の連れてきた二人を見て驚愕
「あれはフットボールの選手らやかましませんよ、パラグエリに

ビンキイは破顔紙を出すとビンキイは破顔紙を出す
「ヤカロ、それは敵をとるものだ、野球選手はライオンをとるが俺達は選手を盗りにきたんだまゝ〳〵、ハイエー」
敵風堂と云ひたいが、彼はキテレツな話でや、二人は選手の部屋へ入りこむ、かくてインチキな食品ミイラ取りがミイラになり、パラグエリとビンキイが捕へられ室内に監禁される
×
時！はや試合開始、（クスレイの武器や如何に——といへば、あれは十二號〇、これが四半歳の終り

「なんたるコトぞ、諸君はアノ手を忘れたか、それ三十八の旅法」
ウアグスタフ先生は激昂絶叫をしてゐる、すると、フランクが飛んできて
「お父さん、そりや敵のチームです」
「ハン、ナル程、いや待て、敵の武器や如何に——といへば、あれは十二號〇、これが四半歳の終り

「泥水どのの花所をかう」
「泥水！」
「だが、それは駄目だらう」
「駄目とは何ぢや」
「御贔屓者と知られた泥水どのの事とやや、よもや、縁などに所を明かして呉くものか、止した方がいい」
「止した方がいい？」
「ものは、ためしと云ふことがある、子に逃はされるのは人倒りや縁が父の花所を知らぬと云つて洲まされるかつ」
「さ、河合どの、そんなに申されるな」
「こつて止めるとなら、はは有難つた、然公、八木運転馬は、さては泥水の縁に合があつたのだ」
「何の話を？」
八木運転馬は縁を向いて云つたそして。
「扇六どの、そも〳〵泥水を手易に捕縛したのは、然公の父河合小太郎殿ではなかつたか、してみれば然公は何を措いても泥水一門は、かばつてやらねばならぬ筈ではらぬか？」
「黙らつしやい」
掛せた刀を、そばやかして河合扇六は一膝した。
「然公こそだ、然公の兄皆八木源

「泥水どのの花所をかう」
「泥水！」
「だが、それは駄目だらう」
「駄目とは何ぢや」
「御贔屓者と知られた泥水どのの事とやや、よもや、縁などに所を明かして呉くものか、止した方がいい」
「止した方がいい？」
「ものは、ためしと云ふことがある、子に逃はされるのは人倒りや縁が父の花所を知らぬと云つて洲まされるかつ」
「さ、河合どの、そんなに申されるな」
「こつて止めるとなら、はは有難つた、然公、八木運転馬は、さては泥水の縁に合があつたのだ」
「何の話を？」
八木運転馬は縁を向いて云つたそして。
「扇六どの、そも〳〵泥水を手易に捕縛したのは、然公の父河合小太郎殿ではなかつたか、してみれば然公は何を措いても泥水一門は、かばつてやらねばならぬ筈ではらぬか？」
「黙らつしやい」
掛せた刀を、そばやかして河合扇六は一膝した。
「然公こそだ、然公の兄皆八木源

公開欄

コレはどうかと思ふ

鶴丸晴彦

◇私は過日の法政野球の第二回戦を見るべく市民バスに乗り込んで驚いた。何が私を驚ろかしたか、車内は乗客でこそ立錐の餘地もなかつた。そこにである

巨大な紳士が側に悠然となほランクをのさばりかへしてゐるのである。側には子供を連れたオバサンが立つてゐる。其の間隔した紳士の側にあるトランクの上に乗つてゐる人々人はすがれる。立つてゐる人々の眼眼鏡がうらやましさうにトランクに集中した。側にゐる子供は車がまがる毎によろめいた私は少からず疾憤を感じた「くそ！それでも非常時日本の紳士かいつた様な風をして紳士と偉大なる態度を装へてゐる。……どうかと思ふ

◇之も新春に始つた不愉快な話不景気をかつとばして真ふとふとつて美顔の二等席にをさまる

二等席も名ばかりで三等席との差価かに二十銭。例の経済恐慌時のお茶子さんに節約代五銭。五銭のかなかつたので五十銭紙幣を渡すと、勿を持つて来ますといつて茶子さん退く。それから五分たつたら十分たつたら映画館が終つてしまつても勿論四十五銭也が私の手にもどつて来ない。だけだに今にお茶子さんに節約代五銭。五銭のかなかつたので五十銭紙幣を渡すと、勿を持つて来ますといつて茶子さん退く。それから五分たつたら十分たつたら映画館が終つてしまつても勿論四十五銭也が私の手にもどつて来ない。だけだに今にお茶子さんに節約代五銭。

◇茶子さんの間でも知つてゐればよかつたのだが生憎彼女の顔が判明しなかつた。借か四十五銭で時かつたので彼女の顔が判明しなかつた。借か四十五銭で時かつたので彼女の顔が判明しなかつた。

名家敗退將棋

(四)

平手番　六段　△溝呂木光治
　　六段　▲飯塚勘一郎

(溝呂木(持駒)　歩)

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
								香	一
						歩	桂	角	二
						飛	金	銀	三
						歩	桂	王	四
						歩	銀	歩	五
						歩	金	歩	六
						歩	金	銀	七
						歩	玉	金	八
						歩	角	桂	九
						歩	歩	香	

(飯塚(持駒)　歩)

▲五歩　△同銀▲二角成　△同銀▲八銀　△六歩　▲四歩　△一五歩　△四三金▲三五歩

▲飯塚六段曰く　七五歩は五六歩だれは五六歩だ突いても次八金と上つて居る關上手くはない併し後捷な神化が生ずるので常の順に行つた

▲溝呂木七段曰く　六四銀は形を整へて突くべきでせ飯塚で六筋取込み九角と成られて五七角と換へ求めれば三五歩六六角三四歩と角の時二九飛と引いて歩損ではあるが敵角を使はしたので有利でせう

▲溝呂木七段曰く　四四歩は直ちに角を打つ手に指切り模様となるので辛抱しました私の方に四二金の期に主の形ちを造り易へ居ます

▲大越八段評　飯塚君の六六歩に四四角と打たれては三五歩六六角三四歩と成程ハルボのハーフといひ、ショのピアノといひ、我歌に近い感がある、これをいれたくては敵客が承知しないだらう、それは認めぬ、然し、どう押入るのなら、もう少しエスプリを欲かしてほしかつた、これでは「インチキ商會」を見た時だけに不滅である、だがいづれにしても、最近不景気の折柄、笑ひを以て祭祀を除く

景氣のよい話題に
三二年映畫界行進

噂とトピックの渦巻

新春イソフル景気にめぐまれた映画界は、既に様々な噂をを賑しながらも一味の活潑気配は出来さうな話ばかり聞けるとしても昭和八年の映画界は、日活が何のかの噂へられても結局小田急線に次いで来るのは洋日活される、然し今年こそは日本映画界の為に多大の望みをつた社位の映画の製作の為に多大の望みをスタヂオ

新設に依る松竹蒲田撮影所の移転問題と、日活多摩川撮影所の拡張問題と、既に昨年中にでも一応は決定されるべきであつたが、十数万円の金額の為に今日迄延引されてゐるのは、実に不思議な位である。

漢文臺灣日日新報

外務首腦部協議卅日訓電
全權依然和協努力
聯盟如仍決定第四項發動
責任盡歸之觀其所為

三十日東京電。內田外相。去二十九日。雖係日曜日。亦於午後一時。到外務省。極致有田次官。谷亞細亞局長。等首腦部。議至夕刻。想為聯盟形勢急迫。熟議我最後態度。即據二十九日。帝國代表部。到外務省報告。聯盟形勢。帝國政府。苟以昨年十二月決議案理由書末項。滿洲國否認條項讓步。可以第三項阻止。此或反之。照第四項。不得阻其作不利我國之報告書。及勸告書。帝國政府。以第三項阻止歟。或第四項。甘受歟。此係最後機會。此點所關。外務當局。極為祕密。想已拔代表部。重要訓令。然二十九日。協議結果。帝國政府。不憚第四項移牒。唯第三項和協努力。依然希望。帝國代表。於既與訓令範圍內。歟妥和協努力。極為至荷。

一、帝國政府。對決議原案。在提示修正要求內。

(一)律師報告書第九草諸原則。為解決基礎之點。及

(二)和協委員會任務。在「指導日華交涉」之點修正。字句一、二訂正。可與妥協。固有川意。

(三)理由書末項。以為議長宣言案。然要根本變形。即明示滿洲國否認之意味。絕對讓步不得。

一、聯盟如不管我帝國政府讓級和態度。決定第四項發動。帝國政府。別無所憚。唯將因此所生一切事應責任。歸之聯盟。而觀聯盟所為。

中外要電
政局方推移

東京消息。衆議院豫算總會。決定三十日一日裁止。三十一日移諸分科會。迄今質問要點如左。

一、財政不均衡。

一、軍事費恒久性。

一、漸兌對策。

一、國際聯盟對策。

一、對美俄政策。

一、關稅問題。

政民兩黨。對齋藤內閣。對政治機微關係上。再不手。而納諸中間政客。

六千圓。信借二千圓。割引三千圓為最高限。事務報酬。月俸定百二十圓。存立時期延長十年為三十年。監事四名任滿。由組合員唱議定任。信用評定委員十八名。被任組合長指名。最後木乡金融課長訓示。三時十五分閉會。該組合於四五年前。極形紛糾。自改革後。年々年穩無事云。

舊港樹林頭
兩信組總會

▲舊港信用購販組合第一回總會二十八日午後一時。開於同地公學校。定刻許組合長。報告業務。次議決借入金限額一萬圓。併貸與一組合員之最高額。信用六百圓。付帶擔保千圓。役員改選結果。理事五名。監事三名。俱皆重任。

▲新竹市樹林頭信組十四回總會。去二十九日午後一時。由州李勸業課長。出席組合長。議決借入金限額一萬圓。併貸與一組合員之最高額。所開計畫面。親經。蓋新竹產物情。米麥等。自是進展。然徒無感于生產。而不致意于販路方面。終無有效故對買賣方面。詳細視察。種柑橙。被臺中廳制。其實。優于臺中產也云云。由是同組長林獻堂氏。就議長席。開會前。並報告營業狀況。組合長務陳后氏。報告昭和七年度事業。監查役。舉臺中商人。郭木榮氏。當選。任期各滿之監事四名。信用評定委員十六名。補缺。當選者決諾。即席就任。次有議案。第一號議案。配當金六、九、九圓。諸議。決借用之最高限額。併貸與一組合員之限額。所開二百餘回。外無功可取。議場一時痛苦之聲四起。結局。議決酬呈。十圓以內之記念銀一個。除此以外。議案皆照原案可決至四時十五分議畢。有臨監官訓辭。及來賓祝辭。後雖入選舉。任期告滿之監事四名。信用評定委員十六名。補缺。理事一名。結局新任理事。朱邦。監事王連生。餘皆重任。王鎮鳴八點。在鳳山街役場樓上。開晚餐會。

龍江信組總會
平穩通過

龍江信用組合。去二十九日午後二時四十分。在江山樓。開第十五回通常總會。組合員七百八十九名。定數二百。出席者三百七十五名。委任狀五十四通。臺組合長不在。楊仲佐理事就議長席。李鍾生專務報告事。即決定配年利八分。承議。計算。決借用之最高限額。併貸與一組合員之限額。所開。諸案。均一瀉千里可決。終由許組合長謝詞。李課長訓示散會。

南美兩國紛爭問題
美國慫慂共同勸和
帝國決定不干

三十日東京電。南美哥倫布。伯祕兩國紛爭。美國務長官。去二十五日。招出淵大使。慫慂適用不戰條約共勸兩國政府。出淵大使。請訓於外務省。即為考究處置。決定今後一切不干與。定二十日午前。將情況訓出淵大使。其理由如左。

一、南美邊陬。紛爭事件。帝國政府。無從知原因真相。且帝國對兩國。均有友交關係。此際輕舉。將來恐貽禍根。不得不避。

一、現國際聯盟理事會。既於聯盟規約適用之下。調停兩國。帝國政府。自應一任。不須票獨行動。

高市協議會
就道路照明燈
熱心質問

高雄市協議會。第二日。去二十八日午前九時十分再開。即議第一讀會。由歲出第一款至六款。有二三質問。入臨時部。第二款至六款。審議終了。下午一時休憩。至五時頃閉會。

款簽緒土木費。至第五款補助及寄附等。一括審議。第五款第五項在鄉軍人會補助金。有中村。高木。安藤諸氏。希望增額。小林市尹。泉參與答辯之次歲入經常部。第一款至六款。有二三質問。入臨時部。第二款至六款。審議終了。下午一時休憩。至五時頃閉會。

臺南神社
廿八日月次祭

臺南神社。月次祭。去二十八朝八時。依恒例執行。今川州知事。省先塞玉串頂禮。次森市尹。林州文書課。若槻高工校。田中南師校。黃松二高女校。宮尾州教育課。川村內務部。小山參事。石川官房。太田糖業試驗場庶務課各長。及田村武七。劉市協諮氏等。參拜後。次中島朱邦。監事王連生。餘皆重任。王鎮鳴八點。在鳳山街役場樓上。開晚餐會。

建築組總會

新竹建築利用組合十一回總會。月二十八日下午一時半。由李勸業課長列席開於公會堂。定額濟水專務。報告事項。次議決。修繕金。處分銀借入金最高額之二十萬圓。變更事項。其他。

島米痛遭環境壓迫
舊曆新正開市落價
市面閑散再落餘地已淺

新市上稍大約五六十。三月限若剝稍。或如病派。所料。二十三圓臺若實現。則浮動米一擔。當能再起。島米行情。比較的穩健。再落餘地已淺。惟內地移出已一段落。此後定見閑散云。

鳳山信組
總代會平穩

既報鳳山信用組合總代會。去二十八日午前十一時。於該組合樓上。是日出席總代百六名。次席。

臺灣正米市場

臺灣正米市場。自去二十六日起。三日間。因舊正月陽係。休市三天。二十九所。二十日始再開場。午前九時頃場外。島米行情。受聯盟消息不良。出盤。形勢不良。臺北米販。

蘇州名妓彩雲曲
樊山晚年得意哀艷之作

一雲。擅十五人吹玉管。波。一曲桃葉倚桃根。約略猶驚鬢。

大東信託總會

臺中市。大東信託。株式會社。去二十九日。午後三時起。於同社樓上。開第六回定期株主總會。出席株主九十名。株數三萬三千八百十株。內委任狀七十名。株數八九九株。同社長林獻堂氏。就議長席。開會前。並報告營業狀況。樞軍務陳后氏。報告昭和七年度事業。監查役。舉臺中廖福氏。當選。任期各滿之監事四名。信用評定委員十六名。補缺。理事一名。結局新任理事。朱邦。監事王連生。餘皆重任。王鎮鳴八點。在鳳山街役場樓上。開晚餐會。

南投街協議會
豫算九萬五千餘圓
多去年萬七千餘圓

南投街第十九回協議會。即昭和八年度臺中州南投郡南投街議入歲出豫算。經林助役簡單之說明。移入質問後。即行採決。均照原案可決。豫算總額九萬五千九百六十三圓。比去年增一萬七千四百二十五圓。其臨課率如左。一、地租割。地租百分之二十。二、所得稅割。所得稅百分之二十。三、營業稅割。營業稅百分之三十八。四、雜種稅。左。土屋州協議員。外以內。(特別所得稅。百分之二十三。遊興稅。百分之二十五。其他百分之三十)戶稅割則為三倍五分六厘。入夜六時。又從午後十時。張燈於營業。廣告。邀關係者。臨席。臺數至夜深散會。

苗栗協議會

苗栗街協議會。去二十七日上午十時半。由郡內務部長。池田郡守。並出席協議員十三名。(缺席二名)等列席開會。是日宇佐美街長。首報街治概況。並說明豫算總額及方針。畢。入諮詢事項程。審議八年度歲入出豫算。並街稅賦課率。瑞穗之件。原案可決。次有議員之參拜。至十時半終式。

草屯李瑞記
小作米品評
受賞五十二人

既報南投郡草屯庄李昌期翁之創舉。小作米品評會。業於去二十七日下午二時四十分。開於草屯公學校。式場則假該校講堂。來賓。有藤田郡守。元山州技師。外八十餘人。小作人入賞者全部列席。首山會長李昌期報告開會。次有田中郡技手為審查之報告。李會長授與褒狀。特等。簡襲。一等。李進成外七人。二等。魏森榮外四十人。計五十二人。當場試外觀方針。畢。入審查。次頭。農會技術。第七。保護滯米。第九保線。

苗栗郡廳賞燈謎

萬華入船町一丁目。(舊市仔頭)協豐藥材行。主人陳。近特遊。燈謎文事。設許坤氏。擬作該行。自舊歷一月九日起。(每夜七時至十一時)至元宵止。無賞燈謎。藉以獎勵讀書。點綴春光。佳景。歡迎各界往射云。

共益自動車
定期總會
反對無券乘車

羅東街共益自動車會社第四回定期株主總會。去二十八日午後二時半。開于太平閣樓上。是日出席株主有二十名。缺席者七名。將本年利益金三千五十條。全部償却備品。定刻林社長。報告營業概況。又昭和八年。借入金最高限度。議定二萬圓。陳監查役。報告檢查成績。移入損益計算時。株主多數提案。因最近無乘車券之乘車者頗多。故社員或從業員之家族要乘車者。須對會社申請乘車券。若無乘車券。使乘車者。被株主發見時。要對車掌。嚴重處罰。滿場可決後。定昭和八年中。各株再拂込三圓。(總株數千二百株)新起事業。欲建築新車庫。議事後有。塚本都勳。

城南信組
通常總會
得配當五分

臺北城南信用組合通常總會。二十九日午前十時半。開于南門公會堂。監督官。小倉。木田。池田諸氏臨席。水木。小兒右。腳踏車。中之幸。查此小兒。為同町謝。之長男。文虎。年市六歲云。

新竹
磋商普及

新竹州教育。者。為國語普急進的普及。即月三十一日上午九時。在郡廳上。召集庄長。並區會非選係員等。開國語普及磋商會。

闖女賭博
檢舉賭漢

竹。香山庄。水尾氏。梁湖洞。同牛埔人。姚。去二十六日。下午三時。於牛埔千四番地宅內。被牛埔警所巡查。頭。戴竹等。檢舉。假裝勞工。至晚。檢舉。

鹿港
役員互選

鹿港信用利用組合。及當物販賣。自施。組合長。及常務兩部。任。倘未補缺。暫以理事四名。補缺。乃於去二十七日午後三時。開役員會互選。開票結果。組合長許梅。氏。以施江東氏。同點。禁務開票。投。後更。抽籤方法。組合長。隔座。氏。同點。最後更。抽籤方法。組合長。隔座。氏。同點。當場。於組合。事務。刷新。選舉。理。莫不抱。

近日召外相面詢
脫盟時之處置
及委任統治地

二十日東京電。聖上陛下。對國際聯盟形勢推移。殊深軫念。常命每週木曜日外交問題進講白鳥情報部長。將聯盟問題。詳細說明。下問精細。白鳥部長。輒為恐懼莫措。最近聯盟漸趨。於規約第十五條四項發動之勢。以此推移。難保我國不得不至於脫盟。此點宸衷。特慮。一、二日中。特旨召內田外相。下問聯盟脫退之時。聯盟國所當處置及委任統治地域問題等云。

內海知事視察阪神
言獎勵前調查販路

百十一回。合前期繰越金計七萬三千四百三十四圓。計七萬三千四百三十四圓。為堅固貯蓄社基礎。不為配當。繰越於後期。併無異議。承認可決。關于重役任滿改選之件。一任議長指名左記。諸氏取締役。林獻堂。陳朝。林瑞騰。楊天賦。陳煌。林階堂。呂柔。杜南。賴天生。監查役。林添坡。郭木榮。四名。任期各滿。乃於去二十七日午後三時。開役員會互選。開票結果。組合長許梅。氏。以施江東氏。同點。禁務開票。投。後更。抽籤方法。組合長。隔座。氏。同點。最後更。抽籤方法。組合長。隔座。氏。同點。當場。於組合。事務。刷新。選舉。理。莫不抱。

南投街協議會
豫算九萬五千餘圓
多去年萬七千餘圓

南投街第十九回協議會。昭和八年度臺中州南投郡南投街議入歲出豫算。經林助役簡單之說明。移入質問後。即行採決。均照原案可決。豫算總額九萬五千九百六十三圓。比去年增一萬七千四百二十五圓。其臨課率如左。一、地租割。地租百分之二十。二、所得稅割。所得稅百分之二十。三、營業稅割。營業稅百分之三十八。四、雜種稅。左。土屋州協議員。外以內。(特別所得稅。百分之二十三。遊興稅。百分之二十五。其他百分之三十)戶稅割則為三倍五分六厘。入夜六時。又從午後十時。張燈於營業。廣告。邀關係者。臨席。臺數至夜深散會。

娘媽金牌
廿八日被盜

東石郡太保庄太保。有一娘媽廟。廟中崇祀娘媽。該廟。自前清時。太子太保王得祿氏所建。歷代既久。風雨剝落。昨年來該庄王順記外數氏。提倡重修。該娘媽為當庄人士所信仰。金身裝飾。之金牌十餘面。去二十八日。忽然該金牌。全部被盜。當地人士。立刻報官。現當局正著手搜查。聞被盜金牌。僅近千圓云。

草屯李瑞記
小作米品評
受賞五十二人

既報南投郡草屯庄李昌期翁之創舉。小作米品評會。業於去二十七日下午二時四十分。開於草屯公學校。式場則假該校講堂。來賓。有藤田郡守。元山州技師。外八十餘人。小作人入賞者全部列席。首山會長李昌期報告開會。次有田中郡技手為審查之報告。李會長授與褒狀。特等。簡襲。一等。李進成外七人。二等。魏森榮外四十人。計五十二人。當場試外觀方針。畢。入審查。次頭。農會技術。第七。保護滯米。第九保線。

苗栗協議會

苗栗街協議會。去二十七日上午十時半。由郡內務部長。池田郡守。並出席協議員十三名。(缺席二名)等列席開會。是日宇佐美街長。首報街治概況。並說明豫算總額及方針。畢。入諮詢事項程。審議八年度歲入出豫算。並街稅賦課率。瑞穗之件。原案可決。次有議員之參拜。至十時半終式。

萬華懸賞燈謎

萬華入船町一丁目。(舊市仔頭)協豐藥材行。主人陳。近特遊。燈謎文事。設許坤氏。擬作該行。自舊歷一月九日起。(每夜七時至十一時)至元宵止。無賞燈謎。藉以獎勵讀書。點綴春光。佳景。歡迎各界往射云。

共益自動車
定期總會
反對無券乘車

羅東街共益自動車會社第四回定期株主總會。去二十八日午後二時半。開于太平閣樓上。是日出席株主有二十名。缺席者七名。將本年利益金三千五十條。全部償却備品。定刻林社長。報告營業概況。又昭和八年。借入金最高限度。議定二萬圓。陳監查役。報告檢查成績。移入損益計算時。株主多數提案。因最近無乘車券之乘車者頗多。故社員或從業員之家族要乘車者。須對會社申請乘車券。若無乘車券。使乘車者。被株主發見時。要對車掌。嚴重處罰。滿場可決後。定昭和八年中。各株再拂込三圓。(總株數千二百株)新起事業。欲建築新車庫。議事後有。塚本都勳。

城南信組
通常總會
得配當五分

臺北城南信用組合通常總會。二十九日午前十時半。開于南門公會堂。監督官。小倉。木田。池田諸氏臨席。水木。小兒右。腳踏車。中之幸。查此小兒。為同町謝。之長男。文虎。年市六歲云。

娘媽金牌
廿八日被盜

東石郡太保庄太保。有一娘媽廟。廟中崇祀娘媽。該廟。自前清時。太子太保王得祿氏所建。歷代既久。風雨剝落。昨年來該庄王順記外數氏。提倡重修。該娘媽為當庄人士所信仰。金身裝飾。之金牌十餘面。去二十八日。忽然該金牌。全部被盜。當地人士。立刻報官。現當局正著手搜查。聞被盜金牌。僅近千圓云。

代表部報告

諮府商息。日本代表部全體會議。除今。朝十時(臺灣午後五時)。出席理事會。澤田帝國。事務局長外。殆全員出席。杉村聯盟事務總長。亦極蓄積。起草委員會。照第四項。起草報告進步。勘告以外。已完成。只一、二點。至來週月曜日。無望開。除協議。會應決定。我。項對策。或主十九國委員會。諸國現狀否認條項。言句肯綮正。不妨考慮。或主反對。結局如係改正。後日不使小國。再有紛動。餘地。考慮可也。然關重要國案。決定報告政府。一照剛諮行動。指示。一、兩國現狀否認條項。或主十九國委員會。諸國現狀否認條項。言句肯綮正。不妨考慮。或主反對。結局如係改正。後日不使小國。再有紛動。餘地。考慮可也。然關重要國案。決定報告政府。

中外要電
政局方推移

東京消息。衆議院豫算總會。決定三十日一日裁止。三十一日移諸分科會。迄今質問要點如左。

一、財政不均衡。

一、軍事費恒久性。

一、漸兌對策。

一、國際聯盟對策。

一、對美俄政策。

一、關稅問題。

政民兩黨。對齋藤內閣。對政治機微關係上。再不

舊港樹林頭
兩信組總會

▲舊港信用購販組合第一回總會二十八日午後一時。開於同地公學校。定刻許組合長。報告業務。次議決借入金限額一萬圓。併貸與一組合員之最高額。信用六百圓。付帶擔保千圓。役員改選結果。理事五名。監事三名。俱皆重任。

▲新竹市樹林頭信組十四回總會。去二十九日午後一時。由州李勸業課長。出席組合長。議決借入金限額一萬圓。併貸與一組合員之最高額。信用六百圓。付帶擔保千圓。役員改選結果。理事五名。監事三名。俱皆重任。

龍江信組總會
平穩通過

龍江信用組合。去二十九日午後二時四十分。在江山樓。開第十五回通常總會。組合員七百八十九名。定數二百。出席者三百七十五名。委任狀五十四通。臺組合長不在。楊仲佐理事就議長席。李鍾生專務報告事。即決定配年利八分。承議。計算。決借用之最高限額。併貸與一組合員之限額。所開。諸案。均一瀉千里可決。終由許組合長謝詞。李課長訓示散會。

南美兩國紛爭問題
美國慫慂共同勸和
帝國決定不干

三十日東京電。南美哥倫布。伯祕兩國紛爭。美國務長官。去二十五日。招出淵大使。慫慂適用不戰條約共勸兩國政府。出淵大使。請訓於外務省。即為考究處置。決定今後一切不干與。定二十日午前。將情況訓出淵大使。其理由如左。

一、南美邊陬。紛爭事件。帝國政府。無從知原因真相。且帝國對兩國。均有友交關係。此際輕舉。將來恐貽禍根。不得不避。

一、現國際聯盟理事會。既於聯盟規約適用之下。調停兩國。帝國政府。自應一任。不須票獨行動。

高市協議會
就道路照明燈
熱心質問

高雄市協議會。第二日。去二十八日午前九時十分再開。即議第一讀會。由歲出第一款至六款。有二三質問。入臨時部。第二款至六款。審議終了。下午一時休憩。至五時頃閉會。

臺南神社
廿八日月次祭

臺南神社。月次祭。去二十八朝八時。依恒例執行。今川州知事。省先塞玉串頂禮。次森市尹。林州文書課。若槻高工校。田中南師校。黃松二高女校。宮尾州教育課。川村內務部。小山參事。石川官房。太田糖業試驗場庶務課各長。及田村武七。劉市協諮氏等。參拜後。次中島朱邦。監事王連生。餘皆重任。王鎮鳴八點。在鳳山街役場樓上。開晚餐會。

建築組總會

新竹建築利用組合十一回總會。月二十八日下午一時半。由李勸業課長列席開於公會堂。定額濟水專務。報告事項。次議決。修繕金。處分銀借入金最高額之二十萬圓。變更事項。其他。

島米痛遭環境壓迫
舊曆新正開市落價
市面閑散再落餘地已淺

新市上稍大約五六十。三月限若剝稍。或如病派。所料。二十三圓臺若實現。則浮動米一擔。當能再起。島米行情。比較的穩健。再落餘地已淺。惟內地移出已一段落。此後定見閑散云。

鳳山信組
總代會平穩

既報鳳山信用組合總代會。去二十八日午前十一時。於該組合樓上。是日出席總代百六名。次席。

臺灣正米市場

臺灣正米市場。自去二十六日起。三日間。因舊正月陽係。休市三天。二十九所。二十日始再開場。午前九時頃場外。島米行情。受聯盟消息不良。出盤。形勢不良。臺北米販。

蘇州名妓彩雲曲
樊山晚年得意哀艷之作

一雲。擅十五人吹玉管。波。一曲桃葉倚桃根。約略猶驚鬢。

大東信託總會

臺中市。大東信託。株式會社。去二十九日。午後三時起。於同社樓上。開第六回定期株主總會。出席株主九十名。株數三萬三千八百十株。內委任狀七十名。株數八九九株。同社長林獻堂氏。就議長席。開會前。並報告營業狀況。樞軍務陳后氏。報告昭和七年度事業。監查役。舉臺中廖福氏。當選。任期各滿之監事四名。信用評定委員十六名。補缺。理事一名。結局新任理事。朱邦。監事王連生。餘皆重任。王鎮鳴八點。在鳳山街役場樓上。開晚餐會。

南投街協議會
豫算九萬五千餘圓
多去年萬七千餘圓

南投街第十九回協議會。即昭和八年度臺中州南投郡南投街議入歲出豫算。經林助役簡單之說明。移入質問後。即行採決。均照原案可決。豫算總額九萬五千九百六十三圓。比去年增一萬七千四百二十五圓。其臨課率如左。一、地租割。地租百分之二十。二、所得稅割。所得稅百分之二十。三、營業稅割。營業稅百分之三十八。四、雜種稅。左。土屋州協議員。外以內。(特別所得稅。百分之二十三。遊興稅。百分之二十五。其他百分之三十)戶稅割則為三倍五分六厘。入夜六時。又從午後十時。張燈於營業。廣告。邀關係者。臨席。臺數至夜深散會。

娘媽金牌
廿八日被盜

東石郡太保庄太保。有一娘媽廟。廟中崇祀娘媽。該廟。自前清時。太子太保王得祿氏所建。歷代既久。風雨剝落。昨年來該庄王順記外數氏。提倡重修。該娘媽為當庄人士所信仰。金身裝飾。之金牌十餘面。去二十八日。忽然該金牌。全部被盜。當地人士。立刻報官。現當局正著手搜查。聞被盜金牌。僅近千圓云。

苗栗協議會

苗栗街協議會。去二十七日上午十時半。由郡內務部長。池田郡守。並出席協議員十三名。(缺席二名)等列席開會。是日宇佐美街長。首報街治概況。並說明豫算總額及方針。畢。入諮詢事項程。審議八年度歲入出豫算。並街稅賦課率。瑞穗之件。原案可決。次有議員之參拜。至十時半終式。

萬華懸賞燈謎

萬華入船町一丁目。(舊市仔頭)協豐藥材行。主人陳。近特遊。燈謎文事。設許坤氏。擬作該行。自舊歷一月九日起。(每夜七時至十一時)至元宵止。無賞燈謎。藉以獎勵讀書。點綴春光。佳景。歡迎各界往射云。

共益自動車
定期總會
反對無券乘車

羅東街共益自動車會社第四回定期株主總會。去二十八日午後二時半。開于太平閣樓上。是日出席株主有二十名。缺席者七名。將本年利益金三千五十條。全部償却備品。定刻林社長。報告營業概況。又昭和八年。借入金最高限度。議定二萬圓。陳監查役。報告檢查成績。移入損益計算時。株主多數提案。因最近無乘車券之乘車者頗多。故社員或從業員之家族要乘車者。須對會社申請乘車券。若無乘車券。使乘車者。被株主發見時。要對車掌。嚴重處罰。滿場可決後。定昭和八年中。各株再拂込三圓。(總株數千二百株)新起事業。欲建築新車庫。議事後有。塚本都勳。

城南信組
通常總會
得配當五分

臺北城南信用組合通常總會。二十九日午前十時半。開于南門公會堂。監督官。小倉。木田。池田諸氏臨席。水木。小兒右。腳踏車。中之幸。查此小兒。為同町謝。之長男。文虎。年市六歲云。

娘媽金牌
廿八日被盜

東石郡太保庄太保。有一娘媽廟。廟中崇祀娘媽。該廟。自前清時。太子太保王得祿氏所建。歷代既久。風雨剝落。昨年來該庄王順記外數氏。提倡重修。該娘媽為當庄人士所信仰。金身裝飾。之金牌十餘面。去二十八日。忽然該金牌。全部被盜。當地人士。立刻報官。現當局正著手搜查。聞被盜金牌。僅近千圓云。

代表部報告

諮府商息。日本代表部全體會議。除今。朝十時(臺灣午後五時)。出席理事會。澤田帝國。事務局長外。殆全員出席。杉村聯盟事務總長。亦極蓄積。起草委員會。照第四項。起草報告進步。勘告以外。已完成。只一、二點。至來週月曜日。無望開。除協議。會應決定。我。項對策。或主十九國委員會。諸國現狀否認條項。言句肯綮正。不妨考慮。或主反對。結局如係改正。後日不使小國。再有紛動。餘地。考慮可也。然關重要國案。決定報告政府。

娘媽金牌
廿八日被盜

東石郡太保庄太保。有一娘媽廟。廟中崇祀娘媽。該廟。自前清時。太子太保王得祿氏所建。歷代既久。風雨剝落。昨年來該庄王順記外數氏。提倡重修。該娘媽為當庄人士所信仰。金身裝飾。之金牌十餘面。去二十八日。忽然該金牌。全部被盜。當地人士。立刻報官。現當局正著手搜查。聞被盜金牌。僅近千圓云。

警察異動

去二十八日。南投警官調動如左。土屋州所辻川巡查部長。轉任臺北州能仁警部長。轉任臺北州能仁警部。宮尾州警務課。兼務警務部長。轉任臺北州能仁警部。

木屬而飛

南投名間庄張木人陳枝。去二十三日夕刻。屯後舍房中有鼠竊潛入。至舍後八時。始知。中有盛銀之壺。金二十二個。已不其中之現。金八十二個。輒已不翼而飛。食盡逃。形跡過偽。不幸中之幸。查此小兒。為同町謝。之長男。文虎。年市六歲云。

皮公學藝

古歷元旦。即去二十七日。名間庄皮子。寮公學校。開學始會。食父兄會。父兄及其他到者百餘人。而員雖分教場。亦同者會。俱盛況。

斗六
保正當選

斗六區保正。日前投票。開票。結果如下。第一保。張添。第二保朱太窩。第三保倪頂復。第四保林溝和。第五保斗仁。第六保周添木。第七保溝頂。第八保陳添泉。第九保線。

東石
舊正冷淡

東石郡朴子街。朴子。今年去歷元旦。比例年冷淡尤甚。寥寥無幾。惟聞賀正收刺者。亦甚少。且男女老幼。皆閉戶不出。一般爆竹之聲。元旦男女老幼。皆閉戶不出。三五成群。結隊遊行。上。當局禁止。故。今年。比例年冷淡尤甚。

青園講習

東石自治會。自去二十七日起。至二十九日止。三日間。在朴子。開青園講習會。受講者。男女青年團員。百餘名。講師。郡視學。及指導者。國民。計五十名。

假橋竣成

南陽三疋庄。跨過。永久之假橋。客年七月中。因暴風雨期。一時停止工事。而後十月再由清水組築手續工事。去二十五日。竣成。橋長尺五寸。全部鐵筋。已經竣工之假橋。近日中開通。

舊正冷淡

東石郡朴子街。朴子。今年去歷元旦。比例年冷淡尤甚。寥寥無幾。惟聞賀正收刺者。亦甚少。且男女老幼。皆閉戶不出。一般爆竹之聲。元旦男女老幼。皆閉戶不出。三五成群。結隊遊行。上。當局禁止。故。今年。比例年冷淡尤甚。

青園講習

東石自治會。自去二十七日起。至二十九日止。三日間。在朴子。開青園講習會。受講者。男女青年團員。百餘名。講師。郡視學。及指導者。國民。計五十名。

假橋竣成

南陽三疋庄。跨過。永久之假橋。客年七月中。因暴風雨期。一時停止工事。而後十月再由清水組築手續工事。去二十五日。竣成。橋長尺五寸。全部鐵筋。已經竣工之假橋。近日中開通。

自動車
欲避小兒
撞倒亭子腳柱

去二十八日。午後四時四

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
臺北市表町一丁目一番地　臺灣新聞社
電話（代表）一一一一番
振替口座臺北一二番
定價（一ヶ月）金壹圓八十錢
廣告料（一行）一回金五十錢　一ヶ月金壹圓八十錢
（京城配達）（御許可郵便物認可）

●合資會社福慶商店（電話一〇四四番）昭和八年度ノ賦拾壹本店ヲ新義州ヨリ新義州府ニ移轉ス
右昭和八年度ノ賦拾五日登記
臺北地方法院登記出張所

第拾四回決算報告

昭和七年拾貳月參拾壹日現在
貸借對照表

資産之部		負債之部	
現金	貳拾萬壹千參百圓	資本金	五千貳百圓
預ケ金	壹萬貳千圓	積立金	參千九百七拾萬圓
貸付金	壹萬貳千圓	當期利益金	貳千九百六拾八萬圓
有價證券	壹萬貳千圓		
動產	壹萬貳千圓		
不動產	壹萬貳千圓		
合計	貳拾萬壹千參百圓	合計	貳拾萬壹千參百圓

第七拾壹期決算公告

貸借對照表（昭和七年十二月末現在）

資産之部		負債之部	
現金	貳拾萬壹千參百圓	資本金	五千貳百圓
預ケ金	壹萬貳千圓	積立金	參千九百七拾萬圓
貸付金	壹萬貳千圓	當期利益金	貳千九百六拾八萬圓
有價證券	壹萬貳千圓		
動產	壹萬貳千圓		
不動產	壹萬貳千圓		
合計	貳拾萬壹千參百圓	合計	貳拾萬壹千參百圓

三十四銀行

三十四銀行

昭和八年一月

金瓜石鑛山株式會社

內臺大連汽船株式會社

臺灣日日新報社

臺灣日日新報社

臺灣日日新報

朝鮮の地方自治制の確立
臺灣より先んじた理由如何

一、朝鮮に於ては昭和五年十二月地方制度の大改正が行はれ府、邑面に關する自治法規が面目を一新したが、內地、臺灣の市に相當する府には府會があり、それは單に諮問機關に非ずして議決機關であり而も府會議員は一定の資格ある住民から選擧され、更に臺灣の街庄に相當する邑面については地方團體の理事機關たる面即ち府尹、邑長、面長が議決機關たる府會、邑會、面會の議員と同樣に住民の公選によるのでなく定數の三分の二が公選であり三分の一は臺灣同樣官選に屬し、而もその公選の方法は內地に於けるが如き普通選擧の方法によらず選擧人は府邑面の地方議會の議員であり被選擧者は一定の制限的資格をもつ者とする。即ち制限的制限選擧制度といふべきである。さて右の如き朝鮮自治制の實施については各地方長官は總督府とは全然意見を異にし慫慂實施に反對であつたと聞くが、何れにするも二年間猶豫布されて漸期的の準備が實施されることとなり從つてその施行規則も制定發布を見るに至つたものであらう。扨つて之を現行の臺灣地方制度に比較するときはどうであるか、今や彼の地方制度たる道府、邑、面のうち合議體として單に官選同樣官選に屬し、而もその公選の方法は內地に於けるが如き普通選擧にあらず、而も議員の選擧區だけに過ぎず、而も議員の選擧について選擧人は府邑面の地方議會の議員であり被選擧者はこれ又一定の制限的資格をもつ者とする。即ち制限的制限選擧制度といふべきである。さて右の如き朝鮮自治制の實施については各地方長官は總督府とは全然意見を異にし慫慂實施に反對であつたと聞くが、何れにするも二年間猶豫布されて漸期的の準備が實施されることとなり從つてその施行規則も制定發布を見るに至つたものであらう。扨つて之を現行の臺灣地方制度に比較するときはどうであるか、今や彼の地方制度たる道府、邑、面のうち合議體として單に官選同樣官選に屬し、而もその公選の方法は內地に於けるが如き普通選擧にあらず、而も議員の選擧區だけに過ぎず、而も議員の選擧について選擧人は府邑面の地方議會の議員であり被選擧者はこれ又一定の制限的資格をもつ者とする。即ち制限的制限選擧制度といふべきである。さて右の如き朝鮮自治制の實施については各地方長官は總督府とは全然意見を異にし慫慂實施に反對であつたと聞くが、何れにするも二年間猶豫布されて漸期的の準備が實施されることとなり從つてその施行規則も制定發布を見るに至つたものであらう。扨つて之を現行の臺灣地方制度に比較するときはどうである

二、他面に於て內地の府縣、臺灣の州に相當する朝鮮の道については其自治法規に大改正を加へることが國會に諮られ、右の昭和五年十二月の府邑面制改正の際當それについても法規改正が行はれたが、それは單に改正法規の發布に止まり來たるべき臺灣に改正法規の發布に止まり來たるべき臺灣に改正法規の發布に止まり來たるべき臺灣

娯樂館を始め 新竹市の諸事業
財源關係で遲延

新竹市の財團法人新竹市娯樂業共濟組合は昭和八年度に於て二千四百八十餘圓の補助を得、同市に於ては八百七十五圓の補助を與へ、合計三千三百六十圓の補助金を以て娯樂業者の救濟に當つてゐるが本年度に於ては

ラヂオ・ラマ

今日の番組

—J.F.A.K 三十一日(火曜日)—

午前の部

【六・二〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ及北調等(放送)

【八・〇〇】全國標準時報(東京)

【九・二〇】家庭百科問答、醫員現像と熱性アイボー、自動車と酒精アルコールの使用

【一〇・一〇】家庭料理献立(品田小梅)(午後六時三十分)(築北)

【一一・〇〇】日用品小問題(築北市西市場)(築南市西市場)

【一一・二五】正午の時報、氣象通報、(臺北のみ)臺北測候所發表

午後の部

【〇・〇〇】放送局報告ニュース

【〇・二〇】蓄音機音樂時間(レコード演奏)、市歌と流行歌(一)、臺北市民歌(山田耕筰作詞一條成三郎作曲)松、山時夫二、小唄、晉帥の臺北(北川綾原作詞、條成三郎作曲)和田春子曰、雪に關する隨筆久保作詞山田耕筰夫編曲)四、たそがれの町(前右)山田耕筰夫作詞原野篤二作曲)六、歌ものがたり(山田と山中)

【二・一五】正午の時報、氣象通報、(臺北のみ)臺北測候所發表

【二・二〇】コドモの時間(東京)

【五・二五】國語五十二

【五・三五】蓄音機講座(築北)「我國に於ける西洋畫の發達」(續篇)小原整

【五・五五】カレント・トピックス(東京)ハロルド・ペーマー

【六・〇〇】子供の時間、童謡劇と童謡劇與童謡劇(童謡劇)捕鯨船の花(牧野雪彦作)二、童謡劇(雙法の花(牧野雪彦作)二、四、羽衣(山田耕筰作)三、四、耳のとれた兎(水田良夫作)四、鶏唱イ、夕やけ小やけ(中山晋平作詞草川信作曲)來山万子四、だるま(島原しげる作詞小松耕輔作曲)深井照八、雪が來た(文部省唱歌)石川數子二、小馬(岡右馬場英智子

夜間の部

【六・三〇】圖書館ニュース(築北)(築南)(築中)(築東)(築西)(臺北)(臺南)(臺中)(臺東)(臺西)

【七・〇〇】家庭百科問答、醫員現像と熱性アルコールの使用

【七・二〇】蓄音機音樂時間(レコード演奏)、市歌と流行歌(二)、築北市民歌(山田耕筰作詞一條成三郎作曲)松、山時夫二、小唄、晉帥の臺北(北川綾原作詞、條成三郎作曲)和田春子曰、雪に關する隨筆久保作詞山田耕筰夫編曲)四、たそがれの町(前右)山田耕筰夫作詞原野篤二作曲)六、歌ものがたり(山田と山中)

【八・〇〇】子供の時間(東京)來訪者

【八・二〇】ラヂオドラマ(築北)

「乃木將軍と渡守」曾我廼家蝶樂一座

【八・三〇】國語ニュース(築北)

【九・一〇】氣象通報臺北測候所發表、築北市西門市場發表、臺南市西市場發表

【九・二〇】蓄音機音樂時間(レコード演奏)、市歌と流行歌(三)、築北市民歌(山田耕筰作詞一條成三郎作曲)松、山時夫二、小唄、晉帥の臺北(北川綾原作詞、條成三郎作曲)和田春子曰、雪に關する隨筆久保作詞山田耕筰夫編曲)四、たそがれの町(前右)山田耕筰夫作詞原野篤二作曲)六、歌ものがたり(山田と山中)

【一〇・〇〇】放送局報告ニュース(築北)(築南)(築中)(築東)(築西)(臺北)(臺南)(臺中)(臺東)(臺西)

【一〇・一〇】家庭料理献立(品田小梅)(午後六時三十分)(築北)

【一一・〇〇】日用品小問題(築北市西門市場發表、臺南市西市場發表

「ラヂオドラマ」

乃木將軍と渡守

曾我廼家蝶樂一座

【午後八時三十分】(臺北)

配役

將軍乃木希典……曾我廼家蝶樂

渡し守小林儀平……卯右

戰死者の靈……曾我廼家浪路

戰死者遺子儀三郎……曾我廼家數子

在郷軍人分會長加十介……曾我廼家一馬

壯士……曾我廼家丸助

今來北中の曾我廼家蝶樂一座の出演で出しものは滑稽悲劇などをお

山中　樵

【生き、悲哀、感動、締める社會」「職人生」の表現に依て知られてる細螺小松耕輔氏、作曲者山田耕筰氏、小唄勇三郎氏、作詞者一條成三郎

問題管見

臺灣電力の爲替差損對策

（六）

並に十萬キロ發電消化問題

電力株券發行下の關係上從來の關係を變更するに、外債の關係上從來の關係を變更するに、外債の關係上從來の關係を變更するに、外債

曙光

(224)

生方敏郎作
中野修二畫

里の母 (二)

澄江が細々書き送つた手紙に對して、姉從妹が心を寄する返事が來た。そして、四五日すると、果して姉子同道した妹が、登田の家に着と成つてゐた。

「まあ、可愛く丸々と、お前によく似て肥てること。」

と、澄江の姑は、何よりも先きに孫やを抱き上げた。

「肉ばかりして困りますの。こんなに少しも笑にならましたけれど。」

「さうかね。でも仲々可愛いよ。」

と、姑は孫の頬や首筋の子供とくらべて、此赤兒を褒めた。

「おうちやん〳〵こやら、御機嫌の善い顔やら、御機嫌の悪い顔やら、ひと通して赤い水引をかけた祝儀袋が入つてゐる。其上、姑親と袋は紙で包んであるに過ぎない。

「おや、まあ、まだなの。」

と、いつて、澄江は疑れた顔をして、大袋に突つた。

それが澄江には嬉られたやうでしみ〴〵嬉しかつた。そしてただ姑を見くらべてゐた。

姑は微笑目で。

「能く良いをつけて、国をした方がいいよ。銀行国と一しよに出して、預けないかられ。」

「何だか春田に祝金を取られるだらうなんて云つてましたが……」

「なあに、何も遠れたのだから其日に生れたことにして預けさへすれば、祝金なんてことはない。世間で欺らもさうしてゐるのだから。」

と、物慣れた姑は、笑もなげに答へた。そして、澄江が二人をもてなすために、度々勝手へ立つのを見ると。

「孫も手傳つてくれてる人は、ないのかね。」

と、心配さうに聞いた。

澄江は、返事の手前、女中の無いのがはづかしく辛かつた。

「ええ、國やがこないだまでるたんですけど、病気になつて歸つたら、いいやないの。そんなぐる〳〵働く娘なんかにしてさせて置くといつて、お宅は大切な女は嫁容といつて、お宅は大切なのよ。近くに新しい嫁さんなんないの？」

「ええ、お薬する前までは、日本橋まで一緒に行つたんですけれど、良人が病日そんな遠くまで出掛けちや、困るつて、いふものですから、自分で巻いてましたの。」

「まあ、気いつやまうねえ。これほどの家へ嫁に来て、嫁を給ふ為らなんて、そんなことをいはれてるなんて、お可もお可だよ、日本橋くらゐの位置で行つたら、すぐやや女中を見付けて良へばいいのに。お澄澄をしたり、お洗濯をしたりそれを皆んな一人でするなんて、まつたく無理だよ。」

「ええ、ですから、方々へ頼んであるんですけれど、仲々良いのが見付かりませんの。」

「だつて、お前、この頃、東京で仲働だつて、探らもあるし。家さん、お嫁さんが貰つたら、すぐ仲働、知り人だつて深山有るだらうに、給金さへ弾ばれば、女の一人くらゐ直ぐにだつてあるよ。今日家さんが歸つたら、すぐ仲働へ行つてもらつて、女中を見付けなさい。」

「だつて、お前、この頃、東京で仲働だつて、探らもあるし。家さん、お嫁さんが貰つたら、すぐ仲働、知り人だつて深山有るだらうに、給金さへ弾ばれば、女の一人くらゐ直ぐにだつてあるよ。今日家さんが歸つたら、すぐ仲働へ行つてもらつて、女中を見付けなさい。」

「そんなことでは困るだらう。赤ん坊があるのに、年代りが一人もないでは、一寸外へ出ることも出来ないぢやないか。明日みんなで歌舞伎座へ行きたいと思つてるんだけれど、子守さへいやぢやや困られる。厭く家さんに云つて、女中を見付けて良へばいいのに。赤ん坊を抱いたり、お洗濯をしたりそれを皆んな一人でするなんて、まつたく無理だよ。」

「ええ、ですから、方々へ頼んであるんですけれど、仲々良いのが見付かりませんの

日、滿、露三國の關係保全を期す

國境設定の協定も希望

ソ聯邦の眞意

【新京三十日發電通】露國は露支復交を好機會とし北支の商業關係と露支關係とを結ぶ一方、支那に於ける共產軍を使嗾して往年の支那赤化の舊夢を再起せしめんとして居るとの說有力なるが、滿洲當局に於ては露支國交調整に關しては何等の關心なく、唯滿日兩國に於ては露支國交調整に對し滿洲國の國際的地位を考慮し、日滿露三國關係の保全を期し、就中極東露領の經濟五ヶ年計畫の可及的完遂を阻止せんとの意圖を有す、即ち右協定方法は從來ハルビン總領事ユスケヴッキー氏と本庄關東軍司令官との間に協議しつつある

有力な敵部隊

又も九門口に襲來

我警備隊應戰して擊退

【承德三十日發電】今朝二時三十分頃敵部隊を有する有力な敵部隊は大擧して南方に潛走した

突如我九門口に襲來敵僞軍と激戰され

熱河侵入に決し

長城の關門を通過

沈克の新編第一師

【天津三十日發電通】北寧線沿線平、灤、長城の一關門たる喜峰口を通過し、續々移動中である

【天津三十日發電通】「滿洲國」の新編第一師に編入、錦州を經て熱河に侵入するに決し

英の親日傾向に

排英運動起る

在支英國商人が態度變更を電請

【ホノルル二十八日發同盟特電】

米海軍の大演習開始

米海軍根據地

太平洋岸に築造

地點選定を命令

【サンペドロ二十九日發聯合至急電】米當局者は新に艦船收容の爲め太平洋岸に米の海軍根據地を設定するに決し一大軍港を建設するに決し、一部は既に着工せるが、更に根據地を擴張するに決し、センペドロ及びクーンズ中住に於て米太平洋艦隊を收容し得る樣擴張を計畫中である

都市計畫で賑ふ

◇…臺北市の協議會……◇

昨日は第一讀會だけで終る

臺北市協議會第二回(三十年度)第二讀會は一月三十日午後一時二十分開會を告げられた、傳聞には多少しらしらしき小波が立つ豫算の內容に就て說明があり、市當局、市會議員、市會臺北州當局の眼もも、觀覽席には一般の人々が詰めかけて居る

◇

そこに山積れ水溶やかに發展發展せる市區改正計畫の實現に加速度を加へる市當局と、市會議員の一致協力を望む聲に滿ちて居る

△議長一瀨和八年市會臺北市歲入歲出豫算の件

△市長より說明

△質疑

△委員會附託

△第一讀會

△第二讀會

△第三讀會

△議長發言

△閉會

黃金花咲く蓬萊島

幣原帝大總長の文獻による考證(六)

蛤仔難內山の寶庫は武界坑溪

砂金の取れる所

何れも水清例と言ひ傳ふ

蛤仔難內山の奥深い地には「ここかしこに蛤仔難(蛤仔)に至つて西から東に河を渡り、更に折れて北から南に谷を上つて行くと西埔市庄長屋に着き、宿を取り、翌日愈々蛤仔難の內山であれば片道に一日かゝるかどうか、又土地を持つ者は市區計畫の爲めに困つてゐるがこの土地の賣上を如何にする積りであるか

△永野參與官　一、市區計畫は各方面の關係者が集つて決定したのだから差支へないと思ふ　二、土地の賣上については本局には關知しない

△飯田氏　新市街は大に力を入れるべきだが之が財源に就て考慮を願ひたい、鋪設道路は「モット盛んにやつて勞働者を潤ほせて欲しい」と述べ川邊參與官の答辯あり

△安田氏　臺北市の都市計畫で助役の說明と土木課長との說明とが相違してゐるが、どちらが信じたらよいか、明快な答弁を市尹から聞きたい

△西澤課長　私は兩參與の答弁が強ち矛盾してゐるとは思つてゐない、市當局としては市區計畫が告示された以上實行に移さゞることは敢て望ひを容れない所である、私には具體的內容を指へて一日も早く實施されるやう希望する

△櫻澤稻氏　市區計畫は市會の協賛を經て決定したのだから差支へないと思ふ

△安田氏　臺北市の都市計畫は助役の說明と土木課長との說明とが相違してゐるが、どちらが信じたらよいか、明快な答弁を市尹から聞きたい

△櫻澤稻氏　市區計畫は市會の協賛を經て決定したのだから差支へないと思ふ

△永野參與官　一、市區計畫は各方面の關係者が集つて決定したのだから差支へないと思ふ　二、土地の賣上については本局には關知しない

△飯田氏　新市街は大に力を入れるべきだが之が財源に就て考慮を願ひたい、鋪設道路は「モット盛んにやつて勞働者を潤ほせて欲しい」と述べ川邊參與官の答辯あり

△安田氏　臺北市の都市計畫は助役の說明と土木課長との說明とが相違してゐるが、どちらが信じたらよいか、明快な答弁を市尹から聞きたい

△西澤課長　私は兩參與の答弁が強ち矛盾してゐるとは思つてゐない、市當局としては市區計畫が告示された以上實行に移さゞることは敢て望ひを容れない所である、私には具體的內容を指へて一日も早く實施されるやう希望する

△櫻澤稻氏　市區計畫は市會の協賛を經て決定したのだから差支へないと思ふ

△鈴木氏　(重ねて屋根問題を繰返し)　愚痴である前物補給法に對し市當局は如何なる考へを持つてゐるか

△後藤參與官　法律で施行せられた以上は已むを得ない、屋根改造の財源がない以上手數料を戶稅に附加することは已むを得ないことである

△西澤課長　鈴木氏の說の如く市當局は在滿軍人會に對しては決して冷酷ではない

△安田氏　臺北市の都市計畫で助役の說明と土木課長との說明とが相違してゐるが、どちらが信じたらよいか、明快な答弁を市尹から聞きたい

△櫻澤稻氏　市區計畫は市會の協賛を經て決定したのだから差支へないと思ふ

△永野參與官　一、市區計畫は各方面の關係者が集つて決定したのだから差支へないと思ふ　二、土地の賣上については本局には關知しない

△飯田氏　新市街は大に力を入れるべきだが之が財源に就て考慮を願ひたい、鋪設道路は「モット盛んにやつて勞働者を潤ほせて欲しい」と述べ川邊參與官の答辯あり

△安田氏　臺北市の都市計畫は助役の說明と土木課長との說明とが相違してゐるが、どちらが信じたらよいか、明快な答弁を市尹から聞きたい

△西澤課長　私は兩參與の答弁が強ち矛盾してゐるとは思つてゐない、市當局としては市區計畫が告示された以上實行に移さゞることは敢て望ひを容れない所である、私には具體的內容を指へて一日も早く實施されるやう希望する

南昌で剿匪

軍事會議

【上海三十日發電通】南昌來電に依れば蔣介石は二十九日午前九時九江着直ちに南昌に飛び午後三時南昌軍團司令部に入り熊式輝其他將校と剿匪軍事會議を開いた

新竹市協議會

卅日第二讀會を終る

【新竹電話】新竹市協議會は三十一日午前十時から開會、諮詢第十九號、昭和八年度新竹市歲入出臨時部經費豫算の件、同第二十號、昭和八年度新竹市歲出臨時部經費豫算の件、同第二十一號、昭和八年度新竹市歲入出經常部經費豫算の件、同第二十二號、昭和八年度新竹市歲出經常部經費豫算の件、同第二十三號、昭和八年度新竹市水道特別會計豫算の件、同第二十四號、昭和八年度新竹市公設市場特別會計豫算の件、同第二十五號、昭和八年度新竹市公設質屋特別會計豫算の件、同第二十六號、昭和八年度新竹市公設屠場特別會計豫算の件、同第二十七號、昭和八年度新竹市公設埋葬場特別會計豫算の件、同第二十八號、昭和八年度新竹市公設下水道特別會計豫算の件、同第二十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第四十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第五十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第六十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第七十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第八十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第九十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百二十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百三十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百四十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百五十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百六十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百七十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百八十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第百九十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百二十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百三十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百四十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百五十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百六十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百七十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百八十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第二百九十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百二十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百三十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百四十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百五十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百六十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十二號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十三號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十四號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十五號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十六號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十七號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十八號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百七十九號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百八十號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算の件、同第三百八十一號、昭和八年度新竹市公設簡易住宅特別會計豫算

漢文 臺灣日日新報

我國回訓一貫不動
由外相上奏發復代表
即至四項移項勿出讓步處置

三十日東京電。帝國政府代表部之訓訓。三十日午前到著外務省。右「滿洲國否認條項倘除若固守。四移項四項。默過可否。而就後態度。重要訓訓。對此外務省腦部。于午前十時緊議。午後二時。內田外相參內得御批。即時對松岡代表發回訓如左。

一、對昨年十二月決議案帝國修正要求。雖至今日。無何等變更。然帝國非拋棄和協之希望。除滿洲國否認條項以外。有意緩和。

一、但對儼然成事實之滿洲國。絕不若否認。十五條三項之和協失敗。亦無讓步意思。

一、右之結果。雖移項于四項亦不懼。因而望勿妨阻此四移項而出。必要以上之讓步的處置。

衆議院豫算總會

三十日東京電。衆議院予算總會第四日檢討財界救國防衛問題終了。議論百出。由政民各派之一問一答。亦四巢國一致內閣之名靜寂。第四日國同之風見巢。政友之矢田重政氏等。料有相當議論。午前十時五十分開會。上程。

一、昭和七年度歲入出總豫算追加案。

右滿洲事件費。爲二三月分緊急費。採決結果。滿場一致可決。次入質疑。

風見章氏(國同)非難農村窮狀施設之不備。力說醫療國營之必要力說。次轉入人口問題。都市失業而歸農者。乃加重農村之窮乏。攻擊二木內相。次言思想問題。

國家之大學。由良家子弟而出共產主義者。基于社會組織之缺陷。

鳩山文相　社會上之缺陷。有種々繁雜。務使學校卒業者得職。企國致有施設之改良。

風見氏更就滿洲移民之集團的經營。質問永非拓相。永非拓相。將農村過剩人口。移民滿洲爲必要。拓務省計畫。國家集團移民。既送一千農民。

午後零時二分休憩。

貴族院本會議
公正重提政界淨化

三十日東京電。三十日貴族院本會議。午前十時十四分開議。續對國務大臣質疑。因齋藤首相不出席。故俊秀男(公正)登壇。重提前回係留政界淨化論。

首相于議會前。訪政民兩黨總裁。雖如何斡解而于政黨淨化之際。使政界投暗。攻擊首相。次轉高調映畫國策論。

年々英大輸入額之映畫影片製成國產及國家觀念之各種映畫配給。由國家的見地。有研究之要。更就財政經濟政策。問政府景氣回復策如何。並因物價騰貴生活者生活壓迫辦如何。極與高橋藏相。

齋藤首相　就訪問兩黨總裁。

已如以前所答以外不能言。至于映畫國策。經有種々研究。唯未至發表其具體案。

蘇俄乘中俄復交機會
急變政策援蘇炳文諸人
使之策動反滿抗日

二十九日准天電。蘇炳文。逋入俄境之際形式上。爲勞農政府官憲。解除武裝。實則優遇。且爲援勞軍反滿積極行動。契約武器東窟品補充。事已判明。又卜四月解氷期。一齊潛入滿洲國。抗日工作。其部下。散在各方面待機。下士官四十名。爲鬼國民政府凍務。一月二日。發浦鹽赴上海。事亦判明。蘇俄聯邦。馱裝毛皮商等。潛自俄都派至東路各地。凡此恢屬乘中俄復交之機。俄然急轉政策。鮮明抗日態度。

市區計畫杜撰
板橋方面亦須考慮
教育水溝鋪裝意見百出
臺北市協議會第二日

臺北市協議會第二日。於次對首相再質問

加藤政之助氏(國成)登壇。財政經濟政策。希政府明示根本方針爲前提。

一、國債整理。途上。歲出增加爲當然。然收支不得不均衡。政府于歲入增加或歲出減少。將採何方針。

一、明年度豫算。各九億八千萬圓赤字。若單務公債。是反協力內閣之意裝由公增發。貨幣價值爲下落。小物價騰貴。生產過剩等。我財政經濟。果如政府所樂觀之收入增加與否。殊爲疑問。在支出方面。軍事費其他。近將來。且膨脹已迫在眼前。而政府非于昭和十年度以後。不增稅。其間爲借金政策而行。經濟界全國不安定。聞收支均衡。政府宣明示根本方針以責執。態度。貴政府政策會前赴上場。

歸納。據部長談如左。

該開整。工事。使川崇人五十人。木島人九十人。及營宣搜索隊。非常努力。該便路延長二里。闊二間半。經完成十分之七。沿道多岩石。初被五千個爆彈。足以了事。今經川過八千個。至完工。非一萬個不可。被三月中竣功。道傍十三名等參列。開于庄役場。陳庄長。先報告庄政目下進行調查。尚未得成案。行財政整理。勿論亦有實施必要。然現在以非常時。爲不得已事情。故積赤字公債。

午前十一時四十四分散會。

苑裡協議會

苗栗郡苑裡協議會。月二十九日上午九時起。由池田郡守拉出席。協議會員十三名等參列。開于庄役場。陳庄長。先報告庄政目下進行調查。尚未得成案。行財政整理。勿論亦有實施必要。然現在以非常時。爲不得已事情。故積赤字公債。

午前十一時四十四分散會。

臺南州開鑿
新高登山自動車路
藤村部長慰問歸來談

山前山中間石宏。作避難所等施設費。八年度。經編入二萬圓。不久將著手工事。今後開鑿次々加道路起點。至玉山第二分水嶺間。連絡兩方。其得所所謂新高登山自動車路。

所謂山中間石宏。作避難所等施設費。八年度。經編入二萬圓。不久將著手工事。今後開鑿次々加道路起點。至玉山第二分水嶺間。連絡兩方。其得便利云。

苑裡協議會

苗栗郡苑裡協議會。月二十九日上午九時起。由池田郡守拉出席。協議會員十三名等參列。開于庄役場。陳庄長。先報告庄政目下進行調查。尚未得成案。行財政整理。勿論亦有實施必要。然現在以非常時。爲不得已事情。故積赤字公債。

午前十一時四十四分散會。

衆議院豫算總會

三十日東京電。衆議院予算總會第四日檢討財界救國防衛問題終了。議論百出。由政民各派之一問一答。亦四巢國一致內閣之名靜寂。第四日國同之風見章。政友之矢田重政氏等。料有相當議論。午前十時五十分開會。上程。

一、昭和七年度歲入出總豫算追加案。

右滿洲事件費。爲二三月分緊急費。採決結果。滿場一致可決。次入質疑。

風見章氏(國同)非難農村窮狀施設之不備。力說醫療國營之必要力說。次轉入人口問題。都市失業而歸農者。乃加重農村之窮乏。攻擊二木內相。次言思想問題。

國家之大學。由良家子弟而出共產主義者。基于社會組織之缺陷。

鳩山文相　社會上之缺陷。有種々繁雜。務使學校卒業者得職。企國致有施設之改良。

風見氏更就滿洲移民之集團的經營。質問永非拓相。永非拓相。將農村過剩人口。移民滿洲爲必要。拓務省計畫。國家集團移民。既送一千農民。

午後零時二分休憩。

貴族院本會議
公正重提政界淨化

三十日東京電。三十日貴族院本會議。午前十時十四分開議。續對國務大臣質疑。因齋藤首相不出席。故俊秀男(公正)登壇。重提前回係留政界淨化論。

首相于議會前。訪政民兩黨總裁。雖如何斡解而于政黨淨化之際。使政界投暗。攻擊首相。次轉高調映畫國策論。

年々英大輸入額之映畫影片製成國產及國家觀念之各種映畫配給。由國家的見地。有研究之要。更就財政經濟政策。問政府景氣回復策如何。並因物價騰貴生活者生活壓迫辦如何。極與高橋藏相。

齋藤首相　就訪問兩黨總裁。

已如以前所答以外不能言。至于映畫國策。經有種々研究。唯未至發表其具體案。

總長對杉村次長言明
三項交涉有餘地
此點或見一展開

二十九日陸軍省。據聯盟最高一邊所確聞。卓爾陶事務總長。昨日對杉村次長。言明和協絕望者。因挾在十九國委員會山使然。然大國一致。有以本日與卓爾陶總長之私的會談時。有問不行四項方法乎。滿洲國否認條項倘除難不能。若有名案。則將考慮修正。日本一邊亦以三項不拒絕。使有交涉餘地。俟米案回訓後。此點或得一展開。亦未可知云。

張學良派遣諸間諜
潛入滿洲偵探報平

二十九日華天電。張學良間諜。加盟方法。潛入滿洲偽勇軍。總指揮。朱慶瀾。部下五名。變裝爲商人。自大連入滿